



学校だより 9月号

令和8年8月27日



横浜市立市場小学校 TEL(581)2107

FAX(581)9387

けやき分校 TEL(580)0105

FAX(580)0135

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ichiba/>

子どもたちの声が響く学校に

校長 重田 英明

40日間の夏休みが終わり、教室に子どもたちの笑顔と賑やかな声が帰ってきました。子どもたち一人ひとりが、それぞれ素敵な夏休みを過ごしたと思います。まだまだ厳しい残暑が予想されますが、学校では熱中症等に十分留意しながら授業を再開させていただきます。保護者、地域の皆様には引き続き、学校教育活動にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



夏休みのある朝、私は、自宅の庭先でまさにこれから羽化しようとしている一匹のセミを見つけました。しばらくすると静かに羽化が始まりました。時間をかけて殻から抜け出し、少しずつ羽を広げていく姿を見ながら、自然が生み出す命の力強さと尊さを感じました。セミは「短い命」の生き物として語られることがあります。しかし、その一生のほとんどは土の中で過ごします。何年もの間、静かに力を蓄え、時が来るのを待ちます。そして、十分に成長すると地上へ出て、美しい羽を広げ、夏空に大きな声を響かせます。セミは、鳴くためだけに羽化するものではありません。命を次の世代へつなぐために羽化するのです。その鳴き声は、「今を精いっぱい生きている」という命の証なのだと思います。

私はこの姿を見ながら、子どもたちの成長も同じだと感じました。子どもたちは、毎日の学習や友達との関わり、挑戦や失敗を通して、少しずつ成長しています。その姿は、すぐには目に見えないこともあります。しかし、その一つ一つの経験が、これからの成長にとって確かな力として蓄えられています。

そして、子どもが自分らしく成長するためには、「安心できる場所」が必要です。安心して話せる環境。失敗しても挑戦を認めてもらえる環境。温かく見守ってくれる家庭や地域。そのような土台があるからこそ、子どもたちは自分の思いを表現し、自分らしい声を響かせることができます。

本日から授業再開です。セミの声が夏空に響くように、子どもたちの元気な声や笑顔が学校いっぱいに広がることを楽しみにしています。また、一人ひとりの子どもが安心して自分らしく成長し、それぞれの場所で輝くことができるよう、教職員一同、心を込めて子どもたちと向き合っています。

令和8年熊本地震および千葉県豪雨により犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、ご遺族の皆さまに謹んでお悔やみ申し上げます。また、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。